

いちご“女峰”の栽培条件と品質について

1 試験のねらい

女峰は生育おう盛で、過繁茂になりやすいため、果実への光線不足等による品質低下が問題になりつつある。そこで、栽植密度及び栽培様式が果実品質におよぼす影響を昭和60年に検討したので概要を報告する。

2 試験方法

1) 栽植密度と収量・品質

a当り600、700、800、900株の4区を設けた。採苗は7月22日、9月26日定植で1.5m²平畝に栽植密度に合わせて粗植区より株間30、28、26、24cmの正方植えとし、規模は1区6m²の2区制とした。本ぼの施肥量は3要素とも2.0kg/aとし、保温開始は10月17日に行った。

2) 栽培様式と品質

東西単棟平畝の4条植え及び南北植え区(現地)を調査した。東西4条植えは1.2m幅の平畝に条間30cm・株間21cmとし、南北植えは2条を寄せ(条間10cm)、株間10cmの6株植えとし、寄せた2条と2条間を65cmとして定植した。施肥量は3要素ともa当り2.5kgとした。

3 試験結果及び考察

1) 栽植密度と収量・品質

保温初期の葉柄長は差がみられないが、60日後では粗植になるに従って劣る傾向であり、えき花房の開花は粗植区ほど早まる傾向であった。株間照度及び葉面積は粗植ほど良く、収穫始期は粗植になるに従って早まる傾向であり、成熟日数を早める効果が認められた。なお、株当りの収量は粗植ほど多いが、a当りの収量は密植ほど多収となる傾向であった。糖度は粗植でわずかに高い傾向であり、硬度も同様であったが、900株区では著しく低下した。このことから、密植は株間照度を少なくし、頂部軟質果の発生に影響したものと考えられた。

2) 栽培様式と品質

葉柄長は大差がみられず、ほぼ同じであったが、花房の出ている株間照度は約6000Luxの差がみられ、果実面では南北植えが高かったものと考えられる。果実の糖度及び硬度は南北植えで高く経過したが、2月末では糖度の差がみられなかった。

4 成果の要約

品質は粗植において糖度・硬度・1果重が優れ、頂部軟質果は少なく、収穫期も早まり株当りの収量も多いことが明らかになったが、収量・品質を考慮するとa当り700株前後が適当な密度と考えられる。また、単棟平畝の南北植えは品質を良くする効果が認められた。

(担当者 栃木分場 赤木博)

表-1 生育及び株間照度におよぼす栽植密度の影響

栽植密度 (株/a)	開花月日		葉柄長		葉面積 (cm ² /株)		株間照度(×1000Lux)			
	頂花房	えき花房	11. 17	12. 17	1.30	3.4	9	11	13	16
600	11. 7	12. 3	11.6	13.3	1,390	1,900	14	27	25	5
700	8	5	12.0	14.0	1,260	1,460	10	26	19	3
800	8	9	11.9	14.1	720	1,560	10	24	16	4
900	8	10	12.7	14.3	700	1,540	10	25	20	4

表-2 栽植密度と収量の関係

栽植密度 (株/a)	収穫始期 (月日)	月別収量 (g/株)					合計	果数		1果a当り 重(g)	収量(t)
		12月	1月	2月	3月	合計		>6g	<6g		
600	12. 16	51	88	106	157	402	26.4	2.3	15.2	0.24	
700	20	58	60	86	153	357	25.9	3.6	13.8	0.25	
800	23	54	62	77	112	305	24.6	4.0	12.4	0.25	
900	23	45	63	72	102	292	23.5	4.0	12.4	0.26	

表-3 栽植密度と果実品質

栽植密度 (株/a)	糖度 (Brix)				硬度 (g/2mm)			頂部軟質果の発生%			
	12.28	1.17	2.18	3.21	12.28	2.18	3.21	12月	1月	2月	3月
600	10.8	10.6	9.5	8.6	78	74	73	6.2	2.3	1.0	4.5
700	10.6	10.4	9.3	8.5	70	72	70	11.5	3.6	1.9	4.2
800	10.6	10.5	9.3	8.3	70	70	66	13.7	4.0	2.0	5.9
900	10.3	10.0	9.2	8.2	60	56	54	15.9	8.6	3.7	9.0

注 果実硬度計は今田製作所PSS-1kg、Ø2mmのプランジャー使用。

表-4 生育及び条間照度におよぼす栽培様式の影響

栽培様式	葉柄長 (cm)		株間照度 (×1000Lux)		
	1月9日	2月28日	10時※	12時※	12時※※
東西平畝・4条植	12.7	13.6	16	18	16
”・南北植	12.9	13.4	22	24	17

注 ※2月6日、※※2月28日測定

表-5 栽培様式の相違と果実品質

栽培様式	糖度 (Brix)			硬度 (g/2mm)		
	1月9日	1月24日	2月28日	1月9日	1月24日	2月28日
東西平畝・4条植	11.0	9.7	9.4	100	92	82
”・南北植	11.7	10.6	9.4	120	100	93